

第83回 俳句を楽しむ会 「かわせみ会」 会報

- 1 開催日 2025年 5月29日 13:00～ 第5木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ
- 2 参加人数 ・男性7名・女性2名・投句2名 計11名
- 3 今回の季語 五月(皐月)の季語全般 (季語重なりがないこと!)
- 4 選句の結果 *写真をみて一句!!を試行してみる。



”古城と芝桜”《大野市》



- ・照り返す蕨光りて夏近し
- ・降り出して舞子彩傘京の街
- ・桜んぼ撮る観る採るが競ひ合い
- ・虫を追い水面をかすめるとぶ燕
- *腹満たす端午ちかづく鯉織
- *アパートの窓に小さき鯉のぼり
- ・鮮やかに総立つ棚田新茶どき
- ・老いたるに米作らんと時の声
- ・仰ぎ見る富士の白峰五月晴れ
- ・陽出でて山霧消えて山笑う
- ・五月雨に濡れた緑がいとまぶし
- ・梅雨夕焼大屋根リング染めたる
- ・大梅雨に田んぼ土鏡逆景色
- ・山間の庵の静寂や夏鶯
- ・みどり葉の畑一面に摘み娘舞う
- *中天にはためき泳ぐ鯉のぼり
- *吾子の声矢車の音過疎の地に
- *堂々と泳ぐ鯉らに初夏の風
- *向い風夢をはらんで鯉のぼり
- *世も変わる川で泳がす鯉のぼり

*写真で一句!
兼題: 鯉のぼり



- 5 講評・添削 披講担当: 金子さん
- 1) 語彙・表現良い句、見直すことでより良い表現へ

- ・桜んぼ撮る観る採るが競ひ合い
撮る観る採るの3拍子のリズムがよく、カメラマンの競い合う様子が目に浮かぶ。
- ・中天にはためき泳ぐ鯉のぼり
中天の代わり晴天ではどんな違いがあるかを議論した。
中天の方が空に突き出た様子をよく表している。

* 比喻上手!

- ・腹満たす風を旨しと鯉織
風を一杯に受け膨らんでる様子が見える。

- 2) 季語無・当該季外れ?!・季語重なり! + 季語色々!

- ・梅雨夕焼け大屋根リング染めいたる
梅雨夕焼けは5, 6月の季語で使う

- 3) 字数について!

基本は5・7・5ですが上の句5、下の句5は固有名詞ならば6文字になっても許される。
その時出来れば総数17字数に納めるようにする。
事例: 山間(やまあい)の庵(いお)の静寂(しじま)や夏鶯(なつうぐいす)

選外句

- ・朝陽浴び万緑は目に優し
- ・薄暑かなおもむろに日々過ごしおり
- ・葉ざくらとなりて人混み静かなり
- ・桑の実を食べし思い出田舎町
- ・米不足オイルショックを偲ぶ夏
- ・雨上がり紫紺しっとりあやめかな
- ・夏淡路回れば左右二大海
- ・便りより先に着きたる新茶かな
- ・朝陽差す若葉煌めく散歩道
- * 鯉のぼり口に風入れ群れおよぐ
- * 雨がちに端午ちかづく鯉織
- * 風止みて己等が何で鯉のぼり
- * 淹のぼる願い込めたる鯉のぼり

- 6 次回(#84)開催日 2025年 6月26日 13:00～(15:00) 第4木曜日

兼題: 六月(水無月)の季語全般

写真で一句 : 紫陽花

歳時記を参考に!

大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!

注2) ”五七五”の17音(文字)を満足すること!

